

保険適用後の不妊治療に関するアンケート Fine 2024 岡山

Q1. あなたが不妊治療をしている（していた）時にお住まいの都道府県を、教えてください。

【必ず回答（1つ選択）】

- 岡山県
- 広島県
- 兵庫県
- 上記以外

Q2. あなたが通われている（いた）医療機関の都道府県を教えてください。

【必ず回答（1つ選択）】

- 岡山県
- 広島県
- 兵庫県
- 上記以外

Q3. あなたの性別を教えてください。

【必ず回答（1つ選択）】

- 男性
- 女性
- その他
- 回答しない

Q4. あなたが不妊や不育症治療を最初に開始した年齢を、教えてください。

【必ず回答（1つ選択）】

- ～24 歳
- 25～29 歳
- 30～34 歳
- 35～39 歳
- 40～44 歳
- 45 歳～

Q5. あなたの現在の年齢を教えてください。

【必ず回答（1つ選択）】

- ～19 歳
- 20～24 歳

- 25～29 歳
- 30～34 歳
- 35～39 歳
- 40～44 歳
- 45～49 歳
- 50 歳～

Q6. あなたの現在の状況について教えてください。

【必ず回答（1つ選択）】

- 現在、不妊や不育症治療をしている
- 現在、妊娠している
- 不妊や不育症治療は休んでいる
- 過去（2022年3月まで）に不妊や不育症治療をしたことがある
- 過去（2022年3月以降）に不妊や不育症治療をしたことがある
- 不妊や不育症治療はしたことがない
- その他

Q7. あなたの不妊や不育症治療の期間を教えてください。

【必ず回答（1つ選択）】

- 1 年未満
- 1 年～2 年未満
- 2 年～5 年未満
- 5 年～10 年未満
- 10 年以上

Q8. あなたが経験したことのある、不妊や不育症治療の内容を教えてください。

【必ず回答（複数選択）】

- 不妊の検査
- タイミング指導
- 人工授精
- 採卵
- 体外受精
- 顕微授精
- 胚凍結
- 新鮮胚移植
- 凍結胚移植
- 不育症の検査

不育症の治療
男性不妊の検査
精子回収術
精子回収術以外の、男性不妊の治療
その他

Q9. あなたが治療していた時の、治療費の自己負担の割合を教えてください。

【必ず回答（1つ選択）】

3割負担(保険診療)
10割負担(自由診療)
3割負担 + 10割負担（保険診療 + 先進医療）
その他

Q10. 治療費はどのようにして捻出していますか（いましたか）？

【必ず回答（1つ選択）】

夫婦の収入
夫のみの収入
妻のみの収入
貯金
親族からの借り入れ
金融機関などからの借り入れ
その他

Q11. 自治体等が実施している不妊治療費助成金制度はありますか（ありました）か？

【必ず回答（1つ選択）】

ある（あった）
ない（なかった）
知らない（わからない）

Q12. 自治体等が実施している不妊治療費助成金制度を利用したことがありますか？

【必ず回答（1つ選択）】

ある（あった）
ない（なかった）

Q13. 自治体等が実施している不妊治療費助成金制度を利用していない（しなかった）理由を教えてください。

【必ず回答（複数選択）】

受けている不妊治療が助成の対象ではない
所得制限を超える
年齢制限を超える
手続きが面倒 手続きの際に周囲に知られるのがいや
制度を知らなかった
その他

Q14. あなたは治療のステップアップ（次の段階の治療に進む）をした際、経済的理由でステップアップを躊躇、延期（お金がたまるまで待つなど）または断念した経験がありますか？あるいは今後、躊躇、延期、または断念すると思いますか？

【必ず回答（1つ選択）】

経験がある（今後すると思う）
経験はない（今後しないと思う）

Q15. 経済的理由でステップアップを躊躇、延期、または断念した経験がない（なかった）理由を教えてください。

【必ず回答（複数選択）】

時間（年齢）的な余裕がない（なかった）
可能性がある限り不妊や不育症治療を続けたい（続けたかった）
不妊や不育症治療をやめるタイミングを決めている（いた）
経済的な心配はない（なかった）
その他

Q16. あなたは不妊や不育症治療を進めていくうちに、予想以上に費用が増えてきた場合、治療を続けることに迷いはありませんか（ありませんでしたか）？

【必ず回答（1つ選択）】

ある（あった）
ない（なかった）

Q17. 予想以上に費用が増えてきた場合、治療を続けることに迷いが無い（なかった）理由を教えてください。

【必ず回答（1つ選択）】

時間（年齢）的な余裕がない（なかった）
可能性がある限り不妊や不育症治療を続けたい（続けたかった）
不妊や不育症治療をやめるタイミングを決めている（いた）
経済的な心配はない（なかった）
その他

Q18. 保険適用には制限があります。現在は、「体外受精/顕微授精」は女性の年齢が治療開始時点で 43 歳未満、「胚移植」は女性の年齢が 40 歳未満は 1 子につき 6 回まで、40 歳以上 43 歳未満は 1 子につき 3 回までです。この現状に対して、あなたの考えに当てはまるものはどれですか（ 賛成、 × 反対）

【必ず回答（1つ選択）】

年齢制限 、回数制限

年齢制限 、回数制限 ×

年齢制限 ×、回数制限

年齢制限 ×、回数制限 ×

Q19. よろしければ、不妊や不育症治療に関するご意見やご要望などをご自由にお書きください。

【任意回答】

不妊治療に関すること（記入は任意です。文字数制限はありません）

不育症治療に関すること（記入は任意です。文字数制限はありません）

国や社会に対して（記入は任意です。文字数制限はありません）

お住まいの自治体に対して（記入は任意です。文字数制限はありません）

医療機関に対して（記入は任意です。文字数制限はありません）

Fine に対して（記入は任意です。文字数制限はありません）

その他（記入は任意です。文字数制限はありません）

Q20. Fine のアンケートに回答するのは何回目ですか？

【必ず回答（1つ選択）】

初めて

2 回目

3 回目以上

わからない

Q21. このアンケートはどこで知りましたか？

【必ず回答（複数選択）】

医療機関での案内

SNS（X(旧 Twitter)・Facebook・ブログなどお教えてください）

Fine のウェブサイト

その他

あてはまるものがない

【これから先は仕事と不妊治療の両立についてのご質問です】

Q22. あなたは仕事と不妊や不育症治療を両立した経験はありますか？

【必ず回答（1つ選択）】

はい（両立した経験がある）

いいえ（両立した経験はないが、考えたことがある（考えている））

いいえ（両立した経験はなく、考えたことがない（考えていない））

Q23. あなたが仕事と不妊や不育症治療を両立している（していた）時の、就業形態を教えてください。複数の お仕事をされている場合は、メインのお仕事についてお答えください。

【必ず回答（1つ選択）】

正社員・正職員（総合職）

正社員・正職員（一般職）

正社員・正職員（技能：技術職）

正社員・正職員（専門職）

正社員・正職員（その他）

嘱託・契約職員

派遣社員

パート・アルバイト

会社役員

日雇い

自営業

自営業の手伝い

個人業務請負

内職

その他

Q24. あなたが仕事と不妊や不育症治療を両立している（していた）時の、会社等の業種を教えてください。複数の会社等でお仕事をされている場合は、メインの会社等についてお答えください。

【必ず回答（1つ選択）】

農業、漁業、林業、水産業

運輸業、郵便業 不動産業、物品賃貸業

学術研究、専門・技術サービス業

宿泊業、飲食サービス業

教育、学習支援業

医療、福祉

メーカー、製造業

情報通信業 電気、ガス、熱供給、水道業

金融業

卸売業、小売業

建設業

その他

Q25. あなたは不妊や不育症治療のために、仕事や予定に支障をきたしたことがありますか？

【必ず回答（1つ選択）】

はい

いいえ

Q26. あなたにとって、仕事をしながらの不妊や不育症治療は、どんなところが難しい（難しかった）ですか？

【必ず回答（複数選択）】

急に、あるいは頻繁に仕事を休む必要があること あらかじめ通院スケジュールを立てられないこと
周りに迷惑をかけること

上司や同僚の理解を得られない

治療のことを職場で、不妊治療中だと話すことが難しい

職務内容が他の人に代替しにくい

治療周期の途中で、仕事の都合で治療を断念せざるを得ない

治療や服薬の副作用で体調不良が起こる

診療時間が平日の日中のみ

予約制であっても待ち時間が長い

有給休暇が不足

管理職としての責任を果たせない

不妊治療中だと話したら、プレ・マタニティハラスメント（妊活に対するハラスメント）にあった

治療が長期化すると迷惑に思われた

治療と仕事を両立させる制度が社内がない

その他

**Q27. あなたは仕事と不妊や不育症治療との両立が困難で、働き方を変えたことがありますか？
（退職、休職、異動、転職など）**

【必ず回答（1つ選択）】

はい

いいえ

Q28. あなたは仕事と不妊や不育症治療との両立が困難で、働き方をどのように変えましたか？

【必ず回答（1つ選択）】

退職をした

- 休職をした
- 転職をした
- 異動をした
- その他

Q29. あなたが働き方を変えた理由を教えてください。

【必ず回答（複数選択）】

- 通院回数が多い
- 診察・通院に時間がかかる
- 急に・頻繁に仕事を休むことが必要
- 体力的に負担が大きい
- 精神的に負担が大きい
- 職場で不妊や不育症治療に対する理解を得づらい
- 職場で不妊や不育症治療への協力やサポートを得づらい
- 不妊や不育症治療をしながらでは、責任のある仕事ができない
- 仕事を優先したい 有給休暇が不足した

Q30. 仕事と不妊や不育症治療の両立のために働き方を変えざるをえなかった時の、あなたの素直な気持ちをお聞かせください。（記入は任意です。文字数制限はありません）

Q31. あなたが仕事と不妊や不育症治療の両立をしている（していた）時、職場で「不妊や不育症治療をしている」ということを周囲に話していますか（話しましたか）？

【必ず回答（1つ選択）】

- はい
- いいえ

Q32. あなたは職場で「不妊や不育症治療をしている」ということを周囲に話しづらく感じますか（感じましたか）？

【必ず回答（1つ選択）】

- はい
- いいえ

Q33. あなたが職場で「不妊や不育症治療をしている」ということを、周囲に話しづらく（話さなかった）理由を教えてください。

【必ず回答（複数選択）】

- 不妊や不育症であることを伝えたくない
- 仕事が減らされたり、期待されなくなったりしそう
- 周囲に心配や迷惑をかけたくない

妊娠しなかった時、職場にいづらくなりそう
不妊や不育症治療に対する理解が少なく、話してもわかってもらえなさそう
その他

Q34. あなたの職場に不妊や不育症治療をサポートする制度等がありますか(不妊や不育症治療時に、制度はありましたか)?

【必ず回答(1つ選択)】

ある
ない
わからない

Q35. 職場にある不妊や不育症治療をサポートする制度について、あてはまるものを教えてください。

【必ず回答(複数選択)】

就業時間制度(不妊や不育症治療による時短・フレックスタイム、正規からパートタイムなど雇用形態の一時的な変更が認められるなど)
支援要員の雇用制度(不妊や不育症治療中の女性を支援する要員を一時的に雇用するなど)
再雇用制度(不妊や不育症治療が再雇用制度における退職時資格に含まれるなど)
休暇・休業制度(不妊や不育症治療が病欠・休職、有給扱いにされるなど)
不妊や不育症治療費に対する融資・補助 相談窓口の整備(組織内、あるいは組織外に相談窓口が設置されている)
情報提供や啓発活動(組織内の研修等に不妊や不育症治療への理解を求める情報提供の機会があるなど)
その他

Q36. あなたは先の選択肢で選択したような、職場の不妊や不育症治療をサポートする制度を使いましたか?あるいは、もしあれば使おうと思いますか?

【必ず回答(1つ選択)】

使った(使おうと思う)
使わなかった(使おうと思わない)

Q37. あなたが職場の不妊や不育症治療をサポートする制度を「使わなかった(使おうと思わない)」理由を教えてください。

【必ず回答(複数選択)】

正社員など特定の就業形態でないと利用できない
制度が使いづらい(事前の申告が必要で急な通院等には対応できないなど)
制度の対象となる治療内容に制限がある(体外受精から対象など)
制度が社内で周知されておらず、職場の理解を得るのが困難
不妊や不育症治療をしていることを知られたくない

その他

Q38. あなたは職場の不妊や不育症治療をサポートする制度に満足しています(いました)か？

【必ず回答(1つ選択)】

とても満足

やや満足

どちらともいえない

やや不満

とても不満

Q39. あなたの職場に、不妊や不育症治療をサポートする制度について「ない」「わからない」と答えた方におたずねします。職場に、不妊や不育症治療に関する何らかのサポートが欲しいと思いますか？

【必ず回答(1つ選択)】

はい

いいえ

Q40. あなたの職場に、不妊や不育症治療をサポートする制度が「欲しい」と答えた方におたずねします。どのようなサポートが欲しいと思いますか？

【必ず回答(複数選択)】

就業時間制度(不妊や不育症治療による時短・フレックスタイム、正規からパートタイムなど雇用形態の一時的な変更が認められるなど)

支援要員の雇用制度(不妊や不育症治療中の女性を支援する要員を一時的に雇用するなど)

再雇用制度(不妊や不育症治療が再雇用制度における退職時資格に含まれるなど)

休暇・休業制度(不妊や不育症治療が病欠・休職、有給扱いにされるなど)

不妊や不育症治療費に対する融資・補助 相談窓口の整備(組織内、あるいは組織外に相談窓口が設置されている)

情報提供や啓発活動(組織内の研修等に不妊や不育症治療への理解を求める情報提供の機会があるなど)

その他

Q41. 不妊や不育症治療に対する職場のサポート制度について、ご意見がありましたら教えてください(十分かどうか、どのように改善すべきか、もっとこうだったら使いやすいのに、など)。(記入は任意です。文字数制限はありません)

Q42. あなたは不妊や不育症治療時に、在宅ワークをしましたか？

【必ず回答(1つ選択)】

した

していない

Q43. 在宅ワークができることにより、不妊や不育症治療への取り組み方に変化はありますか？

【必ず回答（1つ選択）】

ある

ない

Q44. 在宅ワークができることにより、どのように変化したのか教えてください。（記入は任意です。文字数制限はありません）